



すぎなみ

教育報

第165号
平成14年6月28日
発行 杉並区教育委員会
杉並区阿佐谷南1-15-1
電話 3312-2111
FAX 5307-0692

杉並の新しい取り組みが始まりました

「教育改革アクションプラン」の取り組みとして、学校教育と社会教育が連携して行われる活動など、今までにない新しい試みがスタートしています。



いろいろな体験をしよう！ 土曜日学校

杉並区の小・中学校では、学校週五日制に伴い、学校を舞台とした土曜日の取り組みを始めています。各学校ごとに企画、立案をし、特色を活かした活動が繰り広げられている様子をお伝えします。

お茶を通して日本の文化体験

天沼中学校「土曜日学校」

5月最後の土曜日、天沼中学校で初めての「土曜日学校」が開かれました。学校教育コーディネーターである生重^{いしくじ}さんの発案によるこの活動。通常の授業に結びつくような内容の学習や体験を、学校という場で行っていかうというものです。

この日は天沼中学校内にあるお茶室を使い、生徒男女合わせて20名がお茶の作法を体験しました。普段元気いっぱいの中中学生ですが、茶室では静かな気持ちで先生がたててくれたお茶をいただきました。

まずは、正座をして一礼します。懐紙に取ったお茶菓子いただいた後、お茶をいただきます。「お手前、頂戴いたします。」と言い終えたら、お茶碗を口元に運びます。「おいしゅうございますか？」と先生に尋ねられると、みんな「おいしいです。」とにこやかに答えました。また、お茶をいただくだけでなく、お茶碗や茶室にいけられた花を鑑賞しました。20分間、茶室で先生の話聞きながら、落ち着いた時間を過ごしました。「授業と違い少人数でお茶を飲んだことで、作法などに気をつけることができました。」「緊張したけれど、普段では



味わえない静かな気持ちになりました。」お茶を体験した中学生の感想です。

今後、天沼中学校の「土曜日学校」は、お茶の他にも、お華、書道などの日本の伝統的文化を体験できる機会を設けていく予定です。



子どもたちの求めにこたえて

高井戸第四小学校「高四土曜クラブ」

PTAを中心とした特別委員会が企画した土曜日の取り組みが、高井戸第四小学校で始まりました。この日、子どもたち約70人と保護者30人が学校に集まりました。会議室では囲碁、将棋、オセロを、家庭科室ではお絵かきを楽しみました。

PTAでは「土曜日が休みになり、子どもたちがどうなるのか？」という議論がしきりに行われてきました。「土曜日の子どもたちの居場所をつくりたい。」そういった思いから、保護者にも協力を求め、この取り組みが実現したわけです。

お絵かきをしていた女の子に話を聞いてみました。「お絵かきは楽しい。また、土曜日に学校に来たい。」と色を塗りなが



ら話してくれました。保護者の方に手伝ってもらい、みんなの書いた絵は模造紙に貼られ、最後には大きなポスターが完成しました。

会議室では囲碁や将棋に熱中している子どもたちの姿が見られました。土曜日の休みを利用して、子どもたちの様子を見守るお父さんが将棋の手ほどきをしていたり、お母さん方とオセロをしているグループがいたりにとぎやかな様子でした。

「私たちは場や企画の提供を行い、実際に活動していただくのは子どもと保護者です。保護者の皆さんが負担にならない程度に、かつ子どもたちがやってみたいことを中心に行っていきたいですね。」と特別委員会の方は話してくれました。特別委員会や保護者、いずれは地域の方々の協力も受けながら、子どもたちの土曜日の豊かな活動が展開されていきます。

科学館が生涯学習施設として さらにパワーアップします



今年4月1日から、「科学教育センター」は「科学館」と名称を変更し、学校教育支援事業も充実させるとともに、生涯学習施設としてもさらなる充実をはかっていきます。今号では、「科学館」で展開されている区民を対象とした活動を紹介します。

区民科学教室

今年の区民科学教室は、皆さんにとって身近なテーマがぞくぞく登場します。6月はテーマを「園芸」とし、コスモスや菊、ナスなどの栽培について勉強しました。7月には、「七夕の星をさがそう」と題して、プラネタリウムを使い幼児向けの講座を行います。当日は、科学館の庭に生えている竹を使って、七夕の飾りをつけることもできます。今後は、科学館で育てている生の藍の葉を使った叩き染めや、自宅でも楽しめるように藍の栽培を参加者に伝授するという一味違った「藍染」の教室なども予定しています。また、今年は多くの皆さんにもっと参加してもらおうと、区民科学教室の回数を増やすことも検討しています。



大好評だった「お茶の間の科学」で館長自ら実験を披露

公開講座

科学についてもっと知りたいという方のための公開講座を、科学館では年に5回程開催しています。科学館の職員による手作りの講座「お茶の間の科学」もその一つです。気体、液体、固体の燃焼について、身近な例を挙げ、実験も取り入れながら講義は行われました。ふるった片栗粉に火が付く実験では、大きな炎を目にした参加者から驚きの声があがりました。「わかりやすく、おもしろかった。」「身近な出来事を科学的に説明してもらって、ためになった。」などたくさんの感想をいただきました。

また、昨年度は天文分野における著名な学者、デビット・アッシャー氏の「しし座流星群大出現への期待」や大学教授を招き「時間の不思議」などの講演を開き、大変好評でした。今年度は9月下旬に「地震」を題材にした講演を行う予定です。

教育委員会の

ISO 14001 認証取得に向けて④

平成13年4月、「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律（グリーン購入法）」が施行され、杉並区においても、環境物品等の使用に努力しているところです。

環境物品等とは、再生紙・再生樹脂を使用したものや、資源・エネルギーの消費量が少ないもの、また物品の交換や詰め替えが可能なものなどをさします。これらの製品の中には、「エコマーク」「グリーンマーク」「国際エネルギースター」など、環境ラベルが表示されているものもあり、皆さんも目にしたことがあるのではないのでしょうか。

グリーン購入の推進は資源使用を削減するだけでなく、環境物品の市場拡大につながります。より多くの人々が率先して購入することで、環境物品の開発支援や価格低下が実現され、一層環境にやさしい物品が求めやすくなります。

教育委員会においても環境に配慮し、これからもグリーン購入に努めていきます。また、教育活動の様々な場面で、グリーン購入への理解と推進の呼びかけを行っていきます。

	エコマーク 環境を汚さず、環境を改善するために設立・認定された環境保全型商品について。 (財)日本環境協会が実施しています。
	グリーンマーク 古紙を再利用したコピー用紙やノートなどの紙製品について。 (財)古紙再生促進センターが実施しています。
	国際エネルギースター 待機時の消費電力を抑制した省エネルギーオフィス機器について。日本とアメリカの企業による国際統一基準に基づく任意登録制度です。 (財)省エネルギーセンターが業務を行っています。

夏休み みんなの科学

8月下旬の1週間、「夏休みみんなの科学」と題し、科学館で科学に関する体験学習やプラネタリウムの投影、映画上映を行います。体験学習は、チャレンジコース（小学校高学年から大人を対象）とジュニアコース（小学校低学年を対象）を設け、それぞれの知識や興味に合った実験等を行うことができます。

区民参画による懇談会

今年度から生涯学習施設としてパワーアップをはかる科学館では、「区民の方々のニーズにあった事業を行っていききたい。」という考えから、区民の科学学習を考える懇談会を設置します。この懇談会には学識経験者のほかに、科学に関心のある区民の方をメンバーに迎え、より利用者の学習ニーズに応じた運営をめざします。

お問合せ先：科学館 TEL 3396 - 4391



出会った人が先生

教育長 與川 幸男

生まれてきたら

無我夢中で覚えてないが、この世界にとびだしたら母に抱きしめられ、乳房を口に含んでいた。しばらくしたら、父が産湯に入れてくれた、らしい。

母の背中の子守唄を聞いたのはそれからしばらくしてから。父から桃太郎や力チカチ山などの昔話を聞きながら寝ついたのはさらに数ヶ月たってからのことだ。

昭和二十年代に小中学生時代をすごした僕にとって、父が買ってくれた「鉄仮面」や江戸川乱歩の「怪人二十面相」山川惣治の「少年王者」などの冒険物語は、読書への好奇心をしっかりと育ててくれた。

昔は、どこの家庭も兄弟姉妹がたくさんいて、僕も算数の九九なんかは姉に叱られながら教わったものだ。もちろん学校では覚えきれなかったからである。

小学生のときは学校の先生より、家族や駄菓子屋のおばちゃん、町内のおじさんのほうが先生だったような気がする。

学校の先生
自宅が浅草寿町だったので小学校は田原小学校、中学は蔵前中学校（現・浅草中学）に十分から十五分かけて通った。いまでも当時担任だった田村マサコ先生とはクラス会を開いている。貧乏だった僕たちを自宅に招いてくれた先生だ。

中学にいつてからは「英語は一番だ」という兄の影響もあって英語が大の得意科目。専科の竹内先生の指導力に負うところが大きいのだが、えこひいきをしたり、女生徒にべたべたしたりしない爽やかさが、生徒にうけていた。

高校受験が近づくと、精力的に補習授業をしてくれる先生もたくさんいた。毎週土曜の午後はクラス別の授業だ。成績によってクラスが分けられるので必死だった。勉強ばかりやっていたわけではもちろんない。

い。ひそかに恋心を燃やしたこともある。

出合いが子どもを変える

退職された校長先生の集まりに呼ばれると大方の先生は「子どもは今も昔も変わらないね」とおっしゃる。きつと本質的なものは変わらない、という意味なのだと思う。でも、いま子どもたちの周りを、かつて想像もつかないような電子機器が取り囲んでいる。パソコン、電卓、ゲーム機器。その上携帯電話などなど。親子だけでなく友達とのコミュニケーションも様変わりである。

当然のことながら学校の授業も、視覚に訴えたり話し方を工夫したり、地域の方や特技を持った人をゲストティーチャーに招いたりして、実は先生も大変な苦労をしているのである。



土曜日の過ごし方も学校まかせにしないで家庭や地域での工夫もほしいところだ。かつて息子が小学生だったころ、近所の子どもたちと一緒に、映画「スターウォーズ」や「E.T.」を新宿に見に行ったことがある。いつべんに息子や娘が増えて、とても暖かい雰囲気味わうことができた。

子どもにとって出合いはたくさんあったほうがいい。それも本物との、感動ある出会いだ。幸い東京には美術館・博物館をはじめたくさんの文化施設がある。杉並区にもさまざまなユニークな集会所や公園がある。

お父さんもお母さんも、おじさんもおばさん子どもにとつてはみんな先生である。僕も子どもたちとの出合いをつくりだす先生になりたい。

ご意見をお待ちしています

「教育委員からの発信」をお読みになった方からのご意見を募集いたします。

ご意見は郵送、または区のホームページで受け付けます。

送付先 〒166 8570 杉並区阿佐谷南1 15 1

ホームページ <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> 杉並区教育委員会事務局庶務課 「教育委員への意見」あて

ペン知る ▶ ひとりぼっちじゃないよ。電話で相談してみよう。

ゆうライン（杉並区子ども家庭支援センター）
TEL 3 3 9 3 - 4 7 1 1
火曜日から土曜日 午前9時から午後5時

チャイルドラインむさしの（チャイルドラインむさしの）
TEL 0 4 2 2 - 5 2 - 5 1 0 0
毎週月曜日 午後2時から午後8時

向陽中学校

〔よのなか〕科で社会のしくみを学習

向陽中学校の2年生選択社会の1つに〔よのなか〕科という授業があります。社会科担当の加藤先生と済美教育研究所参与の藤原和博さんが教科書だけでは学べない、実社会と深く関わっている学習を展開しています。

「ハンバーガー店の店長をやってみよう」と題し、1回目はハンバーガー店をどこに出店するか考え、人が入りやすい場所を研究しました。第2回は「集客力」、どういった条件が揃えば店に人が集まるのかということ学びます。まず、実際に生徒たちにとって身近な、近所の商店街の床屋、本屋、コンビニエンスストア等について同一業種で2店の流行っている店、流行っていない店の比較を行いました。生徒たちは早速班を編成し、調べたお店について討議していきます。授業ではピンクとブルーの紙が使われ、流行っている理由をピンクに、流行っていない理由をブルーに書き込みました。「みんなが書かないことを書いてみよう。」「正解のない授業だから、どんどん発表してね。」班の間を歩きながら、藤原さんは生徒たちの発言を促します。また「見学の方々も討議に参加してください。」と呼びかけられたお母さんたちも、生徒たちにヒントを与えたり、質問したりしていききました。



流行っていない店の理由には、「活気がない」などの一般的なものから「店員の化粧が濃い」というユニークなものまで、多くの意見が出揃いました。おもしろい回答をした生徒には藤原さんがさらに質問をし、テンポよく授業は進んでいきます。流行っている店については「人通りが多い」「チェーン店になっている」「CMがバンバン流れている」などが理由にあげられました。

「教科書を使った授業より楽しいし、話が具体的でわかりやすいです。」この授業の感想を2年生の生徒たちはそう答えています。大人も巻き込んで行われている魅力的な授業、中学生が世の中について腑に落ちる授業、それが〔よのなか〕科だと感じました。

ふじはらかずひろ 藤原和博さんってどんな人？

リクルートの東京営業統括部長、新規事業担当部長などを経て、自ら立ち上げた年棒契約の客員社員「フェロー」の第1号として活躍した藤原さん。

リクルート退職後、教育現場に携わっていく決意を胸に、本年4月1日付けで杉並区立済美教育研究所教育改革担当参与に就任しました。

現在、向陽中学校〔よのなか〕科、私立品川女子学院〔よのなか〕国語科など、中学生を対象に実社会とリンクしたイキイキとした授業を展開中。

主な著書に、昨年足立第十一中学校で行われた〔よのなか〕科の授業の様子をまとめた「世界でいちばん受けたい授業1、2」、「中学改造」(いずれも小学館)などがあります。

藤原さんに聞きました！

Q：〔よのなか〕科という授業の役割はなんだと思いますか？

A：子どもたちは学校での授業と〔よのなか〕(テレビのニュースで見たり、大人の話を通じてイメージする実社会)との間に大きなギャップを感じていて、どこかウソくさいと感じているようなところがあります。

〔よのなか〕科は、学校で習う知識(教科学習)と実際の世の中で使う技術との橋渡しを行っていきます。

Q：子どもたちに一言メッセージをお願いします。

A：知っていますか？みなさん一人一人に対し、月平均して家庭から12万円、国や自治体から8万円、合計20万円のお金が投資されています。あなたたちは〔よのなか〕の一部であり、〔よのなか〕に意識を向ければ、それを変えられる存在でもあります。

さあ、何でもいから〔よのなか〕の一部を良くすることに力を貸してください！

地球温暖化防止等地球規模の環境問題の他、ごみ、大気、水、景観等身近な環境課題の解決も、同時に直面しており、国のみならず杉並区等も数々の施策を講じている。

学校教育の起点にあたる小中学校の児童生徒の教育はもちろん関連施設やそこでの生活でも、このような環境保全的側面に配慮すべきものと考え、本区の「教育改革アクションプラン」でも強調されている。

イギリス、フランス等においては、一九九三年以降、「エコ・スクール」事業を発足させ、児童生徒、教師、保護者、地域住民等からなる「エコ・スクール」委員会を学校単位に組織し、授業等での環境教育、各種環境配慮活動に対し、外部評価を経て、ヨーロッパ環境教育財団による「エコ・スクール」の認定が得られるように努めている。

また、ドイツにおいては、地域により異なるが、フライブルグ、ジュッセルドルフ等では、小学校入学時に、例えば一〇〇%再生紙のノート、ラッカーの塗られていない鉛筆、木製が布製の筆箱、無塗料の木製の定規や物指等のみ学校への持参が認められ、プラスチック製品は不許可の指導が行われ、学用品の利用を通じて、環境問題に関心をもつ工夫が凝らされている。

わが国政府においても、平成九年度より、公立学校の環境に配慮した新増改築に係わる事業をエコ・スクール整備と命名し、断熱等省エネ、太陽熱利用、中水利用、屋上緑化等に対する補助を考慮しつつ、各種事業を進めているが、施設整備に重点が置かれている。

「エコ・スクール」構築の目的は、学校の施設の利用や教育を通して、児童生徒に学校、家庭、地域社会、国、地球規模等の当面する環境問題に関心を持たせ、行動させるにとどまらず、未然の防

「エコ・スクール」構築への期待

教育委員長 丸田 頼一



止のために、知識、態度、実行力等を身につけた人間を育成することにあると言える。

構築の具体的な推進方法として、第一に、学校のエコ・ハウス化と校庭のエコ・ガーデン化があげられる。エコ・ハウスに関しては、屋上緑化や壁面緑化の他、太陽熱や風力等、自然エネルギーの活用を強調したものとした。校庭のエコ・ガーデン化のためには、校庭の周囲に造成される、野鳥を呼ぶ学校林、ピオトープ(動植物相の小生態系)、花壇、家畜小屋等に加え、グラウンド緑化も視野に入りたい。

第二に学校生活に係わる点があげられる。ドイツにみられるような学用品に対する配慮の他、ごみの減量、分別、再利用やリサイクルによる資源化の検討を加えることや、生ごみのコンポスト化、校庭の落葉の堆肥化と校庭等での活用、節水、水循環、省エネなども主要テーマになる。

第三に学校教育との関連性があげられる。すでに、各教科との係わりで試みられている点もあるが、今後、「総合的な学習」の対象テーマとして選択し、あわせて推進の一助とさせたい。

以上、「エコ・スクール」構築の展望を述べた。その整備には時間、費用、労力等も見込まれる。しかし、児童生徒のみならず教師、保護者等の価値観やライフスタイルに影響を与え、意義深いものと考え、段階計画に沿った、着実な実施を望みたい。

〇ペ〇知る ひとりぼっちじゃないよ。電話で相談してみよう。
せたがやチャイルドライン(世田谷ボランティア協会)
TEL 3 3 2 7 - 6 5 6 5
日・祝日を除く毎日 午後4時から午後10時

中野子ども電話(NPO中野ふくし倶楽部)
TEL 3 2 2 9 - 2 5 2 5
毎週土曜日 午後4時から午後9時

わたしたちの先生自慢

今号から、杉並区で活躍している先生を紹介する「わたしたちの先生自慢」をお送りします。

第1回目は堀之内小学校の北坊伸之先生の登場です。北坊先生は、6月22、23日に福岡県で行われる「ロボカップ」に出場する「ホリホリチーム」の指導をされています。大会直前の白熱した練習現場におじゃましてお話を伺いました。

機会を活かして...

堀之内小「ホリホリチーム」は、今年3月に行われた科学教育センター（現科学館）の「ロボットコンテスト」自由演技の部で奨励賞を受賞しました。その演技が認められ、ロボットの世界大会「ロボカップ」に出場することになりました。教頭先生、音楽担当の先生とともに、チームの指導にあたられている北坊先生。まだ、結成してから1年未満のチームですが、子どもたちが好奇心旺盛なので、どんどん自分たちで問題解決していくそうです。「自分は指導というよりも、子どもたちを見守っているだけです。」と笑う北坊先生ですが、子どもたちは先生のちょっとしたアドバイスに耳を傾けながら、楽しそうに練習していました。

北坊先生は、子どもたちになるべく機会を与えてあげたいと願っています。「ロボカップ」出場も、子どもたちにとって阿波踊

「チャレンジある子ども」を応援します

堀之内小学校 ^{きたぼう のぶゆき} 北坊 伸之 先生



優勝めざしてがんばるぞ！

りを踊るロボットの演技を通じて日本の文化を表現する、世界各国の人と交流するまたない機会と考えているそうです。北坊先生を中心に「優勝をめざして」「ホリホリチーム」は日々練習を重ねています。

「玉磨かざれば光なし」

北坊先生は、子どもの頃から動物や植物を育てるのが大好きで、現在も校庭を利用し、子どもたちとともに植物を種から育てています。理科の授業でモンシロチョウの観察をするために、北坊先生は学校にキャベツを植えました。今ではたくさんのモンシロチョウが小学校を訪れています。このような取り組みをはじめ、北坊先生は子どもたちが本物に触れる機会を大切にしています。

「玉磨かざれば光なし」北坊先生が子どもたちに送る一言です。堀之内小の目標である「チャレンジする子ども」がたくさん増え、自分を磨くことができるよう、北坊先生はあたたかい気持ちでいつも子どもたちを応援しています。

先生大募集！

皆さんの学校にいる先生を紹介してください。部活動などで生徒といっしょにがんばっている先生、「総合的な学習の時間」などで工夫を凝らした授業を展開している先生など...。自薦、他薦は問いません。「教育報」であなたの先生の素敵なお話を自慢しましょう。

問い合わせ先・送付先：教育委員会庶務課

丈夫な歯、大事にしよう

「歯の衛生週間」に関する図画・ポスター等の入選者決定

「歯の衛生週間」(6月4日から6月10日)にちなんで区立小・中学校の児童・生徒から募集した図画・ポスター、作文、標語の入賞者の表彰式が6月22日、区立産業商工会館で行われました。入選作品の一部をご紹介します。(敬称略)



有田 和音(区長賞)



河野 智彦(会長賞)

図画入賞者(区長賞・金賞)

- 永福南小学校 2年1組 有田 和音(区長賞)
- 杉並第十小学校 1年2組 松林 貴久(金賞)
- 永福南小学校 2年1組 藤田有里沙(金賞)

標語入賞作品(金賞)

- ・はのせわは じぶんをつくる 手入れだよ 若杉小学校 2年1組 近藤 悠
- ・みがくほど わたしのはがね ピッカピカ! 浜田山小学校 2年1組 河内奈緒美
- ・食べものを おいしくたべる きほんは歯 杉並第十小学校 3年1組 恩田 明末
- ・なくそうよ 口の中での 大工事 杉並第七小学校 5年1組 安岡佳那子
- ・タイマーを まわしてみがく 3分間 杉並第十小学校 5年2組 生三 和俊
- ・おいしさの よ音残すな まずみがけ 若杉小学校 6年1組 野見山知紗
- ・自己管理 歯の健康に 気配りを 向陽中学校 1年B組 西村 彩

ポスター入賞者(会長賞・金賞)

- 済美小学校 4年1組 河野 智彦(会長賞)
- 桃井第三小学校 6年2組 南 真彩(金賞)

作文入賞作品(金賞)

- 「はじめてのむしば」 杉並第六小学校 3年1組 鈴木麻依子
- 「しかけんしんと、はについて」 高井戸第三小学校 3年2組 西村 知紗

【問い合わせ先】
学務課 就学奨励係

区では、お子さんが安心して勉強できるように、ご家庭の事情に応じて国公立小中学校での学習に必要な学用品費、給食費などの経費の援助を行っています。
年度の途中で収入が著しく減少した場合などは申請できますので、お問い合わせください。
なお、今年度から支度金(修学旅行・移動教室等)は廃止します。

就学援助制度のお知らせ

小・中学校へ来春入学する新1年生を対象とした学校希望制度の実施について

魅力ある教育活動の実現と開かれた学校づくりをめざして、来春区立小・中学校へ入学する新1年生を対象に、学校を希望できる「学校希望制度」を実施しています。

今年度は、希望申請期間が1ヵ月ほど早くなり、9月中旬に対象となる新1年生の保護者あてに希望申請書をお送りします。

希望できる学校は、指定校の隣接校です

希望できる学校の範囲は、通学する児童・生徒の交通安全等を考え、小・中学校とも住所地の指定校に隣接する学校の範囲とします。

隣接校を希望される場合は、お子さんの通学の安全や通学距離にも配慮しながら、学校見学や学校情報を参考に慎重に検討してください。

学校希望申請の手続きについて

9月13日(金)に、希望申請書と学校紹介チラシを同封して郵送します。締切は10月15日(火)です。

学校情報の提供について

- 7月下旬には区立施設窓口で学校紹介をまとめた閲覧用冊子を備えます。
- 区公式ホームページのポイントマップでは、6月下旬から各学校情報が見られます。また、各学校のホームページも順次立ち上げられる予定です。
- 希望申請期間中に学校見学期間を設けますので、見学することができます。

学校ではこの他にも、独自の公開行事等を組んでいますので、学校紹介チラシでお知らせしていく予定です。

学校希望制度の詳細は、広報6月21日号や、6月下旬に学校等を通じてお配りする「学校希望制度のご案内」をご覧ください。

教育委員会の動き

平成14年3月～5月

【教育委員会開催状況】

- 定例会 5回
- 臨時会 1回
- 議案 35件(全議案可決)
- 報告事項 21件
- 学校訪問 1回(井草中学校)

【主な案件】

- は審議・は報告事項
- 杉並区文化財保護審議会委員の委嘱について
- 杉並区菅平学園の維持・管理事務の委任について(菅平学園関連他3件)
- 杉並区幼稚園教育職員の勤務時

- 間、休日、休暇等に関する条例施行規則の一部を改正する規則(幼稚園関連他4件)
- 杉並区立社会教育センター及び社会教育会館条例施行規則の一部を改正する規則(社会教育センター関連他2件)
- 平成14年度児童・生徒数、学級数調査について
- 杉並区IT講習会の実施について
- 教育課程について
- 平成14年度杉並区中学生海外派遣について